

# Re3BS

ハードディスク保守プログラム

プログラム説明書 v5.01

*PC* カスタム

## 仕 様

Re3BS はセクタの読み書き検査において以下の機能を可能な限り駆使し、HDD の延命を計るための業務用保守プログラムとして開発されています。

- |           |   |
|-----------|---|
| *リフレッシュ機能 | 劣化セクタ検出時、磁性体を活性化することでアクセス速度の向上を試みます       |
| *リペア機能    | 不良セクタ検出時、記録済データの復元を試みます                   |
| *リマップ機能   | 不良セクタ検出時、読書き可能になるよう物理的セクタ位置の再配置を含め処理を試みます |
| *初期化機能    | 全セクタに初期値を書込み、初期化します                       |

### [ 特徴・機能 ]

- ・リフレッシュ／リペア／リマップの各処理結果リスト出力機能
- ・最大3段階フェーズ進行による、劣化／不良セクタ絞り込み処理
- ・任意の処理範囲指定機能
- ・処理終了後、PC 自動シャットダウン機能
- ・処理中断後の継続機能
- ・コンソール表示データ出力機能
- ・DCO、HPA 領域有無の表示および解放機能にて対象領域とする
- ・起動時のプログラムチェック機能（ウイルス感染・不正改造等による検知起動中止機能）
- ・OS 不要により高速起動および OS バージョンアップ対応不要  
(PC ハードウェア寿命までの長期利用が可能)

### [ 対応メディア種類 ]

- ・シリアル ATA-HDD
- ・パラレル ATA-HDD (48Bit／28Bit モード)
- \*USB 接続非対応

### [ 最大認識コントローラ数・デバイス数 ]

- ・AHCI (SATA 用) : 最大4コントローラ／PC、最大6デバイス／コントローラ
- ・IDE (PATA 用) : 最大4コントローラ／PC、最大2デバイス(マスター接続のみ)／コントローラ

## [ 表示機能 ]

- ・デバイス固有情報  
型名、製造番号、ファームウェアバージョン、全セクタ数、全容量、対応速度、メディア種類
- ・デバイス進捗情報  
実行開始セクタ番号、正常セクタ数、不良セクタ数、修復セクタ数、修復不能セクタ数、残セクタ数、転送レート、終了推定日時、処理必要時間
- ・各コントローラのステータスレジスタ

## [ デモ版および製品版比較 ]

	< デモ版 >	< 製品版 >
・処理対象領域	：先頭より最大 320GB 位置まで	制限なし
・起動時の広告表示	：有り	無し
・DCO、HPA 領域対応	：非対応	対応
・セクタ初期化値	：0x00 固定	任意指定可

## [ 使用手順 ]

### 1. スタートアップパラメータ入力

プロンプト "Startup optional parameters ? : " 表示後、Enter キー押下

- ・CAN : プログラム実行取り消し

\* デバイス正常認識時、接続ポート番号、デバイス情報の一覧が表示されます

### 2. 実行パラメータ入力

プロンプト "Parameter > " 表示後、パラメータを指定（任意）し Enter キー押下

（入力文字の大・小文字区別なし、パラメータ間スペース区切り）

- ・FRE 劣化セクタ検出時、セクタのリフレッシュ処理を試行
  - ・MAP 不良セクタ検出時、セクタのリマップ処理を試行
  - ・REP 不良セクタ検出時、セクタのリペア処理を試行
- \* 上記、無指定時、FRE および MAP が自動指定

追加(任意)指定

- ・PTnn 処理デバイスポート番号(1 デバイスのみ指定)。省略：0 番
- ・LSn～nn 開始セクタ番号。省略時：0 番。容量単位文字(任意)：k,m,g,t
- ・LEn～nn 終了セクタ番号。省略時：最終セクタ。容量単位文字(任意)：k,m,g,t
- ・LLn～nn 開始セクタからのセクタ数。容量単位文字(任意)：k,m,g,t
- ・PAD 全セクタを 0x00 値で初期化(上書き)する
- ・PAD0Xnn 全セクタを nn 値(00～FF、16 進)で初期化(上書き)する
- ・PADN 全セクタ先頭位置にセクタ番号値を埋め込み初期化する
- ・DCO DCO 領域を解放し処理対象とする  
(HPA 領域が存在する場合、HPA 領域も対象)
- ・HPA HPA 領域を解放し処理対象とする

- ・ LST            劣化／不良セクタ処理結果リスト出力(最大 10000 件)
- ・ SHD           処理終了後、PC 自動シャットダウン

単独(任意)指定

- ・ CAN           プログラム実行取り消し
- ・ CON           処理中断後の継続指定

### 3. 実行開始

プロンプト "Start OK ? (y/can/[ESC]return)>" 表示後、"y"を指定し Enter キー押下

### 4. 実行中の停止操作

"Esc" キー押下にてプロンプト "Interrupt Command[Stop/shutsDown] ?> " 表示後  
(時間が掛かる場合あり) 以下コマンドを指定し Enter キー押下

s : プログラム停止    d : 終了後 PC 自動シャットダウン／無効    未入力 : 戻る (処理続行)

### [ 指定例 ]

Parameter >

\*0 番ポートデバイスのリマップ、リフレッシュを試行

Parameter > PAD

\*0 番ポートデバイスのリマップ、リフレッシュを試行、全領域初期化(0x00 値)実施

Parameter > PT2 REP MAP SHD

\*2 番ポートデバイスのリペア、リマップを試行、自動シャットダウン実施  
(リペア不能時、セクタデータを 0x00 値にて再配置を試行)

Parameter > PT3 MAP LST LS123456 LL100m

\*3 番ポートデバイスの指定領域(セクタ番号 123456 より 100MB 分)のリマップ試行、  
処理結果リスト出力

Parameter > PT4 FRE LE123m

\*4 番ポートデバイスの指定領域(セクタ番号 0 より 123MB 位置)までリフレッシュを試行

Parameter > PT2 HPA

\*ポート 2 デバイスで HPA 領域を解放し、処理対象としリフレッシュ、リマップを試行

Parameter > CON

\*処理実行中に " ESC"キー押下にて中断した処理を継続

**\*PC カスタムにて開発されたプログラムを 無断で掲載・販売・ダウンロード  
提供しているサイトがあります。  
開発されているプログラム等の掲載（無料版ダウンロード含む）は本サイト  
およびベクター様サイトのみです。被害を受けぬ様、十分にご注意ください。**

注)

- ・ IDE（パラレル HDD）接続時、スレーブ接続デバイスは認識しません。 別ポート(マスタ)接続をお試し下さい。
- ・ 一般的にソフトによる不良セクタチェックは、ソフト、コントローラ、IO ルーチン（デバイスドライバー等）の仕様の違い、HDD の不安定状態等で不良件数・不良発生個所に差が生じる場合があります。
- ・ HDD コントローラを直接制御しているためコントローラチップ内のファームウェア仕様により、動作しない場合があります。
- ・ 当プログラム利用によって得られる結果についてはどのような場合でも利用者の責任とさせていただきます。また当社は一切の保障責任および瑕疵責任を負いません。

---

## **PC** カスタム

URL            <http://pc-custom.main.jp/>

E-mail(PC)   [info@pc-custom.main.jp](mailto:info@pc-custom.main.jp)

DeISCT(デルセクト)   最新版／製品版(有償)のお問い合わせ等は上記 HP／メールにて